教育のほりべつ

平成25年
7月1日号
NO,3

発行　登別市教育委員会　0143－88－1100　　〒059-0014　登別市富士町7丁目33番地

青空の下、元気いっぱい
大運動会！



幌別西小学校　６月８日

こいのぼりマラソン大会



５月５日　＜川上公園野球場＞

　すっきりしない天候が続いた今年の春でしたが、この日は最高のマラソン日和となり、大人から子どもまで、それぞれの力に合わせて、元気いっぱい走りぬくことができました。

今年度のコース

- ○１０キロメートル
- ○５キロメートル
- ○３キロメートル
- ○親子３キロメートル

平成25年度 登別市の教育

新しい時代を切り拓く創造性やチャレンジ精神に溢れた人材を育成する

登別市教育委員会では上記理念にもとづき、今年度の教育行政を推進します。ここでは、その一部を紹介します。

学校教育



Ⅰ　学力・体力の向上など、学校の総合的な教育力の向上

基礎的・基本的な学習内容の習得と、それを活用した課題解決能力育成のための少人数指導・習熟度別学習など、指導方法の工夫改善を図る「学校力向上総合実践事業」や「巡回指導教員活用事業」を進めます

Ⅱ　特別支援教育

学校の実態に応じた支援に努めます

Ⅲ　幼稚園・保育所と小・中学校の連携教育

「幼保・小・中連携協議会」を設置し、「子ども同士の交流」や「幼保・小の職員間の交流」などの取組を具体的に進めます

Ⅳ　いじめ・不登校などの問題行動への取組

いじめ・不登校対策会議等、学校、家庭、関係機関との一層の連携を図ります

Ⅴ　豊かな心と健やかな体の育成

1　人間性を豊かにする体験活動の充実

ボランティア活動や自然体験活動などを関係機関と連携して進めます

2　体力・健康づくり

①日常的、継続的に健康づくりや体力向上が図られるよう啓発を進めます

②小学校で取り組むスキー・スケート授業や中学校で導入された柔道の授業は、関係団体との協力のもと、安全に実施できるよう支援します

③「食育」、「薬物乱用防止教室」、「フッ化物洗口」、通学合宿「のぼりべつ・子ども村」等、子どもたちの健康な体づくりの取組を継続して進めます

3　読書活動

学校図書館の一層の活用を促すと同時に、新たな専任司書を配置します

4　安全・安心な教育環境整備　①危機回避能力を高める防災教育の充実　②通学路における緊急点検　③防犯対策の充実



鷲別小学校改築完成予定模型

Ⅵ　学校施設の耐震化

○富岸小学校体育館及び登別小学校体育館の耐震補強工事

○登別小学校及び登別中学校校舎の耐震診断の実施

○鷲別小学校新校舎建設工事に向けた準備

Ⅶ　家庭・地域と連携する教育

地域の皆さんと協働して児童生徒を育てる「学校運営協議会制度＝コミュニティスクール」導入の取組を進めます

社会教育

Ⅰ　家庭教育　地域ぐるみで家族団らんの時間を創出する環境づくりを進めます

Ⅱ　芸術・文化・スポーツ活動の振興

1 芸術・文化に接する機会の充実や市民の個性ある活動を支援します

2 生涯スポーツの推進に努めます

Ⅲ　図書館

子どもの読書活動の推進のため、図書コーナーの充実、おはなし会や各種講座の開催に積極的に取り組みます

幼稚園・保育所・小学校の連携

３月２６日、市民会館で「幼保小連携連絡会」が開催されました。

これは、子どもたちの円滑な学校生活のスタートのために、市内の幼稚園・保育所・小学校の担当者間で、きめ細かな情報交換を行うものです。

実際に担当者が一同に会した顔を合わせての会により、入学後も互いに連携し、子どもたちへの継続性のある、より効果的な支援を進める体制が整えられました。





弥治郎こけしの絵付けに挑戦！

４月１８日、若草小学校の６年生が、宮城県白石市特産の「弥治郎こけし」の絵付けを体験しました。

この事業は、登別市と白石市の姉妹都市交流の一環として、毎年市内各小学校持ち回りで行われています。

丸い立体のこけしへの絵付けは、想像以上に集中力が必要です。みんな、イメージどおりの作品にしようと、真剣に取り組んでいました。

第１期「通学合宿」を実施しました

５月２１日（火）～２５日（土）までの５日間、今年度の通学合宿「のぼりべつ・子ども村」の第１期が実施されました。鷲別小・若草小・富岸小・青葉小の４校の児童が参加し、規則正しい生活を基底に、ゲームや勉強と充実した５日間になりました。

＜今後の予定＞

第2期 **10月29日～11月2日（幌別小・幌西小・幌東小・登別小）**

第3期 **11月12日～16日（幌別小・幌西小・幌東小・登別小）**

第4期 **12月3日～12月7日（鷲別小・若草小・富岸小・青葉小）**



シリーズ 新学習指導要領 3

内容について

“シリーズ３ ”では、新学習指導要領の内容について、昨年度から全面実施された中学校を例に、**「重視している点はどのようなことなのか」**、そのことにより、**「授業の進め方はどう変わったのか」**等について概要を説明します。基本的な考え方は、小学校も同じです。

Ⅰ　目指すのは、「生きる力」の育成です

変化の激しいこれからの社会を担う子どもたちには、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」の調和を重視する、「生きる力」の育成がこれまで以上に重要です。各学校では、それを目指した教育活動を進めています。



Ⅱ　授業時数が増加し、新たな学習内容が加わりました

今回の改訂で、基本的な特徴としてあげられるのが以下の三点です。

①小学校5・6年生での外国語活動の導入（小学校）
②中学校保健体育での武道の授業（中学校）
③授業時数の増加（小・中学校とも）

この授業時数の増加に伴い、中学校では下記の学習内容が新たに加えられています。

教　　科	新たに加えられた学習内容の例 （中学校）
社　　会	世界の各州の特色や日本の各地方の特色をとらえる学習 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う学習
数　　学	球の表面積、体積　　資料の散らばりと代表値　　標本調査
理　　科	日本の気象　　水溶液とイオン　　遺伝の規則性と遺伝子
英　　語	学ぶ語数が 900 語から 1200 語に増加
保健体育	医薬品（薬物等）に関する学習

Ⅲ　子どもたちの思考や表現活動を充実させる授業の展開

数学では答えを出すだけでなく「なぜ」そうなったのか、図やグラフを使って自分の考えを書かせたり説明させたりします。**美術**では作品に対する思いや考えを説明し合ったり批評し合ったりします。また、**保健体育**では運動の行い方を理解させ、自分の課題に合わせて運動に取り組ませます。



Ⅳ　道徳教育の充実

「生きる力」の一つの要素となる「豊かな心」の育成のために、道徳教育の一層の充実を図ります。

具体的には、道徳教育を推進する教師を学校の中核として、「命の大切さ」「法やきまりを守ること」「社会への参画意識を高めること」などの学習を重視します。また、各教科等でも、学習内容に応じて道徳について適切に指導します。

＜ シリーズの最後に ＞

新学習指導要領が目指す「生きる力」の育成のためには、学校・家庭・地域が力を合わせた社会全体の取組が重要です。保護者や地域の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

地域からの学び　～体験的な活動を通して、豊かな心を育む～



富岸小学校では、それぞれの学年で地域の方を講師にした体験的な活動や外部から講師を招いての体験的な学習に取り組んでいます。これらの活動を通して、自然や人とのかかわりの中で、子どもたちの豊かな心の育成を図っています。

富岸小学校の教育



「畑の先生」から、春から育てた枝豆の植え方や育て方を丁寧に指導していただき、楽しく枝豆の苗を植えました。秋には「畑の先生」とともに収穫の喜びを味わい、おいしくいただきます。



春に受精卵から育てたさけの稚魚を放流し、秋には登別さけますふ化場でさけに触れ、採卵受精体験を行いました。

子どもたちには、さけの生態はもとより、生命の大切さを学ぶよい機会となっています。

特色ある教育活動



鷲別中学校では、学校祭を日ごろの学習の表現活動の場ととらえ、生徒はもちろんのこと、学校をあげて合唱や演劇、ステージいっぱいの巨大なモザイク画や絵画パネル作りに取り組んでいます。また、学校祭には、PTA の役員さんたちによるバザーや、「おやじの会」の皆さんによる特別メニューのバザーなど、保護者の皆さんに支えられながら行事をつくり上げています。

鷲別中学校の教育



3年生の合唱は圧巻です

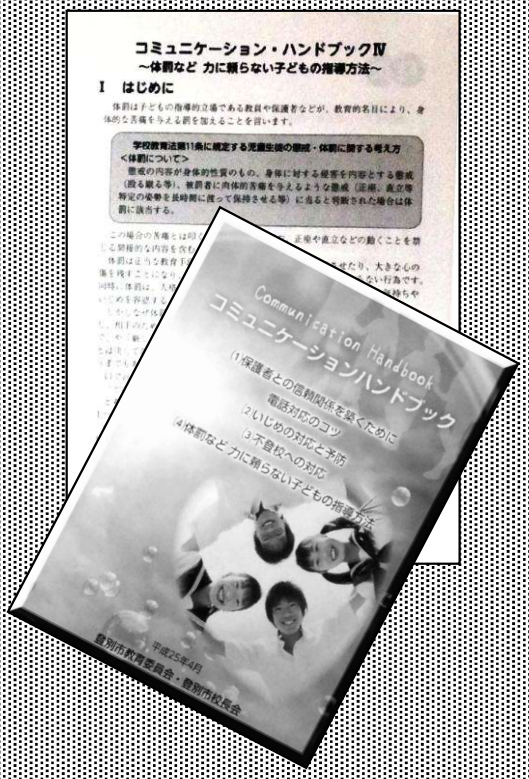
また、２学年の総合的な学習では、キャリア教育の一環として「職業体験」を行っています。登別地区を中心に、さまざまな業種の会社や事業所、店舗経営者の皆さんに協力していただき、朝から１日の職業体験を行っています。生徒にとっては、初めての体験であることが多く、自らの進路を考える上でとても貴重な体験を積むことができる機会です。今年度からは、「ふるさと学習」という大きなテーマを掲げ、私たちのふるさとである登別を見つめ、そこから広い世界へと視野を広げる取組にチャレンジします。



登別消防署での体験訓練

地域のみなさんのご支援とご協力により、鷲別中学校ならではの教育が進められています

信頼関係を土台にした、確かな教育活動推進のために
～ コミュニケーションハンドブックが完成 ～



コミュニケーションハンドブックを校長会と教育委員会が連携して作成し、全教職員・関係機関に配布しました。

内容は、これまで追録式で出されていた、

Ⅰ 保護者との信頼関係を築くために
Ⅱ いじめの対応と予防
Ⅲ 不登校への対応

の３冊に、**Ⅳ「体罰など力に頼らない子どもの指導方法 」**を付け加え4部構成とし、1 冊にまとめました。

確かな教育の根底にあるのは、児童生徒（保護者） と 教師（学校） との間の信頼関係であり、このハンドブックではその視点をふまえた解決の方策が示されています。

先生方の各種研修会時の資料としてはもちろんですが、実践的な資料として日常的に活用されます。

～ 教育委員会の動き ～

年度当初の委員長あいさつ

本年度の教育行政執行方針では、総合的な教育力の向上を図る「学校力向上総合実践事業」や「巡回指導教員活用事業」の推進の支援、第４次社会教育中期計画に沿った各種事業の推進、学校の耐震化など様々な事業が計画されております。

教育委員会一丸となって取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



第１回教育委員会 ４月 26 日（金） 16時30分～

議案第1号：登別市スポーツ推進委員の委嘱

＜情報提供・交流＞

○平成25年度登別市組織機構図(教育委員会)
○平成25年度登別市教育委員会事務局職員名簿
○平成25年度児童生徒数・学級数調書
○年度別不登校児童生徒出現の状況
○年度別いじめ認知件数の推移の状況

第2回教育委員会 ５月 21 日（火） 16時30分～

議案第2号：平成24年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任

＜情報提供・交流＞

○平成25年度文化・スポーツ振興財団行事
○全国学力学習状況調査
○平成25年度市内小学校運動会日程および教育委員会の支援体制
○コミュニケーションハンドブックの活用